

日本バウハウス協会
講演 (オンライン)
2022年11月25日(金)
18:50-20:30



井口 壽乃

ラーズロー・モホイ＝ナジによる 総合芸術の思想—生物学的統合

メディアアートの先駆者として知られるラーズロー・モホイ＝ナジは、光と運動を造形の要素とすることで、写真、絵画、キネティック彫刻、映画、舞台芸術に新たな局面を提示した。その創造活動の基本的思想は、人間の生物的能力、すなわち直観や知覚、記憶、分析、総合的把握そして判断力などを「統合」することであった。さらに芸術の「生産」は、「再生産」されるものとして、複製技術や工業素材を制作に積極的に取り入れていった。モホイによれば、人間と環境、個人と社会の関係は、個別の要素の連続ではなく、相互関係の中で統一の取れた全体へと向かわなければならないのである。

講師 井口 壽乃 (いぐち としの) 氏

1959年生まれ。埼玉大学大学院人文社会科学部研究科教授。専門は映像論、デザイン史。ハンガリー科学アカデミー美術史研究所留学(1993-95)。1996年筑波大学大学院博士課程修了、博士(芸術学)。「モホイ＝ナジ/イン・モーション」展(神奈川県立近代美術館、京都国立近代美術館、DIC川村記念美術館2011-12年巡回)の企画・構成を手がける。主要著書に『ハンガリー・アヴァンギャルド: MAとモホイ＝ナジ』(彩流社、2000)、『アヴァンギャルド宣言』(三元社、2005)、『中欧のモダンアート』(彩流社、2013)、『中欧の現代美術』(彩流社、2014)、『西洋美術の歴史8 20世紀』(中央公論新社、2017)、『視覚文化とデザイン』(水声社、2019)、訳書に『ヴィジョン・イン・モーション』(国書刊行会、2019)などがある。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)
<http://nipponbauhaus.jp>
講演は無料 (Zoom)



講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL
<https://zoom.us/meeting/register/tJUldOutrjMiG9NUajcmhUU6dqLZrKdmiHYj>